

伊藤恭子大使の富山市訪問

令和6年（2024年）7月20日

1 6月27日および28日、伊藤大使は一時帰国の機会を利用し、チリのサンティアゴ首都圏レンカ区と都市間連携事業に取り組む富山市を訪問し、27日には藤井裕久富山市長を表敬しました。

富山市は、SDGs 環境未来都市として「コンパクト・シティ」「スマート・シティ」に積極的に取り組むモデル都市です。2019年、都市開発や環境分野での連携を行うためレンカ区と協力協定を締結し、2022年度には、環境省の二国間クレジット制度（JCM）を活用して、レンカ区のプラスチック工場に屋根置き太陽光発電システムを導入しました。また、2023年には、富山の劇団「文芸座」がレンカ区およびイースター島で公演を行うなど文化交流も行っています。



伊藤駐チリ日本国大使（左）と
藤井富山市長（右）



郷土博物館から富山市街を臨む伊藤大使

伊藤大使と藤井市長は、富山市とレンカ区の連携・交流の進捗を確認しつつ、リサイクル事業などの環境分野、観光での相互連携、富山産日本酒のチリでの紹介など、幅広い分野での更なる連携や国際交流の可能性について意見交換を行いました。



富山市「スケッチラボ」で、富山市のスマート・シティ等の取組について学ぶ伊藤大使



コンパクト・シティの拠点と言える
富山駅視察



北酸（株）訪問



リョーシン（株）の皆さまと

また、伊藤大使は、富山市内の水素ステーションを視察したほか、富山市とサンティアゴ首都圏レンカ区の都市間連携事業に参画している富山の企業、北酸（株）および（株）リョーシンを訪問しました。

北酸（株）は、再生可能エネルギーの提供やエネルギー効率の改善等により、エネルギーのスマート化、低炭素化等に積極的に取り組む企業で、（株）リョーシンは、持続可能な高度循環型社会をつくることを目標に、最先端技術を搭載するリサイクルプラントの提供などを行うプラントメーカーです。



富山市内の水素ステーション



水素を補給！

富山市とレンカ区を通し、日チリの協力・連携が今後ますます強化・促進されることが期待されます。富山市役所の皆さま、ご関係企業・施設の皆さま、ありがとうございました。（了）